

# 2024年 県下一斉 タカの渡り調査 報告

はじめに

田川 亨

2024年「タカの渡り福井県下一斉調査」は、9月14日～29日で実施。福井県内各地で最も遅い真夏日を更新するなど、連日5℃前後高い日が続いたにもかかわらず任意調査も実施いただき有難うございました。また福井ブロックが調査範囲を大きく広げ勝山市芳野まで足を運んで調査。今までにない調査ができました。22日の探鳥会は台風崩れの雨で中止となり楽しみにしておられた皆様、来年のお越しをお待ちしております。タカの渡りは天筒山の調査によるとピークは全て平日で、調査日と重ならず会としての数が出ない結果になりましたが、最終日に比較的天気安定した刈安山で渡りが確認されました。他の定点では雨雲が残り寂しい最終日となりました。一方で若須岳では新しいルートを確認する成果も有りました。調査期間の合計は2304羽となり昨年3191羽に対し-887羽と、大きく減少しました。内訳はサシバ596羽（昨年比-213羽）ハチクマ1090羽（同-932羽）その他618羽（同+258羽）でした。ただ天筒山の調査では例年通りの数が出ていました。各定点を担当された皆様から、今期の状況を纏めていただきました。

## 刈安山 (547m)

橋崎

刈安山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
あわら市	9月14日	1	1	0	2
547m	9月15日	0	0	0	0
	9月16日	0	0	0	0
	9月21日	0	0	0	0
	9月22日	雨中止			
	9月23日	30	3	24	57
	9月28日	1	1	7	9
	9月29日	37	0	12	49
	合計	69	5	43	117

今年は渡りをするタカの確認数が、調査6日間合計で117羽と昨年155羽と比較しての75%に減っています。今年は22日までは、今までにないほどサシバ・ハチクマの出現が少なく反対にハヤブサ類の確認数が多くなっています。22日の探鳥会は風雨が激しく探鳥会・調査共中止となりました。

ただ、雨が上がった23日は57羽、29日は49羽と例年通りの確認数となりました。また23日11羽、29日12羽と少ないながらもタカ柱を確認できたのはうれしいことです。昨年、展望台西斜面の杉林が伐採され、展望が非常に良くなりま

したがメインコースである東側の雑木がさらに高くなり、調査しにくい事には変わりません。

昨年はクマタカのペアが鳴き交わして飛翔する姿や、鋭い眼孔を間近で確認する事が出来、感激しましたが、今年は出現が減少し迫りに欠ける観察でした。森林の空の王者クマタカは私の中では最高の鳥です！！ 毎年確認出来る様に“刈安山”の環境を大事にしたいです。

## 福井B（勝山芳野、若須岳、大塩）

村上

芳野1.2	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
勝山市芳野町 スキージャン	9月14日	0	0	1	1
	9月15日	0	0	0	0
850m	9月16日	1	1	3	5
	9月22日	0	0	0	0
	9月29日	0	0	0	0
	合計	1	1	4	6

若須岳	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
越前市 若須町	9月14日	6	4	2	12
	9月15日	1	1	2	4
564m	9月16日	0	0	0	0
	9月18日	0	0	0	0
	9月21日	0	2	0	2
	9月22日	雨中止			
	9月23日	2	2	4	8
	9月29日	7	8	2	17
	10月5日	43	44	21	108
	合計	59	61	31	151

中平	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
福井市中平町	9月16日	0	0	0	0
220m	9月17日	5	0	0	5
	9月21日	0	1	0	1
	9月22日	雨中止			
	9月23日	0	0	0	0
	9月26日	1	0	0	1
	9月28日	0	0	0	0
	合計	6	1	0	7

今季のタカの渡り調査について、福井ブロックは新しい定点探しを目的としましたが、仮定点として過去の実績から「中平」を、今春に得た情報を基に新しく「スキージャン勝山」を設定し、新しい定点探しと並行して調査を行いました。更に、「大塩地区定点1」で複数回調査を行いました。10月9日のブロック会では、調査担当者から「全くと言って良いほどタカを見る事ができなかった。」との報告がありました。今回、私は定点探しの為「若須岳」を中心に渡りのルート確認をしていました。この場所は北東に刈安山、南に天筒山展望台が望める

見晴らしの良い場所という点から設定しましたが、予想通りタカの渡りを確認することが多く、タカの渡りルート上にあるのではないかと思います。タカは、若須岳近郊で上昇する個体が多く、丹生山地や海側を渡っている時は谷筋を通過しているため、福井ブロック地域での定点取りは難しいと感じました。

ブロック会では、「若須岳」の定点取りについて、少なくとも2~3名の人員が必要なこと、および昨今の人員不足を考慮して福井ブロックが実施、若しくは共同で行えないかとの意見が出ました。来年度の調査につきましては、今年度と同様に仮定点を設定しながらタカの渡りのルートを探していく予定です。

### 部子山・ハツ杉千年の森 酒井

部子山山頂下	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
池田町	9月14日	0	0	0	0
1000m	9月15日	0	0	0	0
	9月21日	0	0	0	0
	9月22日	雨中止			
	9月28日	0	0	0	0
	9月29日	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0
ハツ杉千年の森	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
越前市中居町	9月23日	0	0	0	0
520m	9月29日	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0

今年の林道は山頂の4km手前で土砂崩れの為通行止めになっており、いつもの定点に入る事ができなかった。そこで標高1000m付近に定点を取り観察する事にした。21日の朝、定点に向う途中で80cm位の熊が栗拾いして居る所を目撃。今年もエサが少ないのだろうか？1000m付近でも霧が出ている日が多く視界が効かず、我慢の時間が続きタカは一向に渡って来なかった。そんなこともあり29日は午後から池田町ハツ杉千年の森へ移動して観察したがここでも成果は無かった。部子山は出ると思うのだが・・・

### 矢良巢岳 藤本

矢良巢岳	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
河野	9月14日	3	0	1	4
472m	9月15日	0	0	0	0
	9月21日	0	0	0	0
	9月22日	雨中止			
	9月23日	0	0	0	0
	9月25日	0	0	0	0
	9月28日	0	2	1	3
	9月29日	0	2	3	5
	合計	3	4	5	12



今年は、調査日が天候に恵まれず渡りらしい様子は見られなかった。丹南ブロックでは、矢良巢岳～ホノケ山間の新たなルートを探るため大塩町に新しい定点を作ったが、調査日には周辺の定点も飛ばず、検証をすることができなかった。私自身も、全調査日7日間で見送ったタカは10羽程度にとどまり、何とも不完全燃焼なシーズンとなってしまった。来年に期待することにしましょうか…。

### 大塩 横山

大塩1・2	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
越前市大塩町	9月14日	2	0	0	2
290m	9月15日	1	1	2	4
	9月21日	0	0	0	0
	9月22日	雨中止			
	9月28日	0	0	0	0
	9月29日	0	0	0	0
	合計	3	1	2	6

タカの渡り調査は14日9時頃、東から西（海側）へ移動した1羽が渡り？と思える個体と15日にハイタカSPが一羽出現した外は、ハチクマ1羽が規則正しく出現し、渡らずに降下消失を繰り返すので地付き個体だと思われ、ハチクマの渡りは確認できませんでした。

### 鉢伏山 藤本

鉢伏山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
621m	9月22日	雨中止			
	9月23日	0	19	3	22
	9月25日	0	2	1	3
	9月28日	0	1	2	3
	合計	0	22	6	28

ここは、個人的興味で初めて入ったのだが、遠くまで見渡せてとても良い所だと思った。しかし、どの方向からでも来る可能性があるようで、地図と頭の中を一致させるのに苦労した。

また、近い個体もいるが、遠い個体はずいぶん小さいので識別が困難だった。前任の方々に、そしていつも調査されている方々に脱帽です。

武田

23日は杉津定点での確認が少なかったため途中から鉢伏山へ移動して観察した。北の風が強めであったためか北稜線側から鉢伏山頂上方向へ飛去、あるいは孫谷、二ツ屋上空に出現し北稜線方向へ飛来後鉢伏山頂上方向に飛去する個体が多かった。



杉津

武田

杉津	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
220m	9月14日	9	17	10	36
	9月16日	0	2	3	5
	9月19日	0	0	0	0
	9月21日	2	14	0	16
	9月22日	雨中止			
	9月23日	1	4	2	7
	9月24日	15	176	5	196
	9月28日	0	0	1	1
	9月29日	0	0	0	0
	合計	27	213	21	261

14. 15日は中部ブロック会に参加の為、代わりの方に入って頂いた。各調査日は天候の状況が悪く確認数が少なかったが、24日にハチクマ176羽サシバ15羽その他5羽を記録した。出現場所は鉢伏山の北稜線(マイクロウェブ鉄塔)上空で、定点上空を高く通過して南下した。

久々子海岸(美浜町)

武田

久々子海岸	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
10m	9月24日	0	26	0	26
	合計	0	26	0	26

24日に美浜町久々子において若狭湾海上を北東方向(敦賀半島方向)から飛来し、美浜町久々子~久々子湖上空を通過して南西方向へ飛去、それとは別に美浜町松原~久々子湖上空を南方向へ飛去する2羽を確認した。また、東方向(御嶽山、天王山)から美浜町郷市(土井山北側)、金山、大藪、久々子湖上空を通過し南西方向へ飛去する多くの個体を観察した。折しも24日は杉津、天筒山で今季最大羽数を記録しており、それらの定点通過後の個体の一部でないかと推察する。そして、今回海上を渡る個体の確認ができたことは特記すべきと考える。

天筒山

田川

天筒山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
敦賀市	8月30日	0	0	1	1
171m	9月1日	2	0	0	2
	9月2日	0	0	0	0
	9月3日	0	1	0	1
	9月4日	22	0	9	31
	9月5日	45	1	4	50
	9月6日	9	2	3	14
	9月7日	22	1	7	30
	9月8日	1	4	0	5
	9月9日	8	3	3	14
	9月10日	3	1	2	6
	9月11日	14	1	10	25
	9月12日	19	0	10	29
	9月13日	5	0	1	6
	9月14日	18	15	14	47
	9月15日	1	20	5	26
	9月16日	9	9	10	28
	9月17日	10	2	28	40
	9月18日	6	141	35	182
	9月19日	0	6	10	16
	9月20日	1	2	3	6
	9月21日	0	7	7	14
	9月22日	雨中止			
	9月23日	4	7	4	15
	9月24日	236	365	94	695
	9月25日	79	42	58	179
	9月26日	55	6	29	90
	9月27日	25	12	52	89
	9月28日	13	0	41	54
	9月29日	1	1	3	5
	9月30日	36	0	68	104
	10月1日	242	7	82	331
	10月2日	34	3	34	71
	10月5日	1	0	4	5
	10月6日	114	1	77	192
	10月9日	89	0	76	165
	10月10日	2	0	4	6
	10月11日	5	0	7	12
	10月12日	0	0	39	39
	10月13日	2	0	30	32
	10月14日	0	0	24	24
	10月15日	0	0	39	39
	10月17日	0	0	17	17
	10月18日	0	0	9	9
	10月20日	0	0	0	0
	合計	1133	660	953	2746

8月30日調査スタート。9月4日に31羽5日に50羽出た。例年初旬に数が出た後に、一度落ち込む日が続くが今年は大きく落ち込むことなく続いた。迷走台風の影響が有り、一斉調査の土日は天候に恵まれず数が取れなかったが、全体を見ると天筒山のピークは9月18. 24. 25. 26. 30. 10月1. 6. 9だった。特に24日は遠い、高い、小さいタカがほとんどだが過去最多記録（2011年684羽）を更新し695羽（サシバ236羽ハチクマ365羽その他94羽）を数え、目の良い調査員に感謝する一日だった。8月30日から10月20日まで（調査時間が3～7時間/日と同じでは無いが）延べ44日間の調査で2746羽を確認、昨年比+377羽で例年並みの数が出た。ただ10月5日に若須岳でサシバ43羽ハチクマ44羽出たが天筒山ではサシバ1羽のみしか確認出来なかったので新たなルートが有るのだろう。

### 奥本保

### 平城

奥本保	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
小浜	9月3日	2	0	1	3
290m	9月7日	3	1	1	5
	9月8日	6	0	4	10
	9月9日	2	0	1	3
	9月10日	1	2	0	3
	9月11日	1	0	1	2
	9月12日	0	0	1	1
	9月13日	0	1	1	2
	9月14日	1	26	0	27
	9月17日	0	1	6	7
	9月18日	0	1	7	8
	9月20日	2	1	0	3
	9月21日	0	1	1	2
	9月22日	雨中止			
	9月23日	0	0	0	0
	9月24日	1	0	0	1
	9月25日	2	21	10	33
	9月26日	2	1	4	7
	9月27日	6	13	66	85
	9月28日	0	4	20	24
	9月29日	2	3	10	15
	合計	31	76	134	241

昨年に続き、タカの飛来は低調であった。20日間にわたり観察を続ける中で感じたことがいくつかある。○暑い ○北寄りで強めの風の日が多い ○サシバが少ない ○アサギマダラが見られない ○アマツバメ、ハリオアマツバメも少ない などである。この観察期間中に北寄

りで強めの風の日が多かったことについて考察してみた。この9月は台風・熱帯低気圧・低気圧がいくつも発生し、日本の南岸を東進することが多かった。このため巻き込みの風により若狭湾では北寄りの風が強くなったのである。

もともと嶺南では北寄りの風より南寄りの風の日の方が飛来数が多いことが分かっている。

（会報192号2019. 12月号記載）9月24日～26日にかけて滋賀県の猪子山では約5000羽のサシバが通過しているが、奥本保で通過したサシバは3日間で5羽に過ぎない。いくら嶺南には「ハチクマは来るがサシバは来ない」（会報201号2022. 2月号記載）とはいえ、あまりの差である。ちなみにハチクマについて見ると猪子山563羽に対して奥本保22羽である。やはり北寄り強風の影響があると見て良いのではないか。9月下旬まで真夏日が続いたことも影響しているのか？地球の温暖化が進んでいる事を考えると来年以降もこのような気圧配置の天候が続く可能性が高い。嶺南小浜ではますますタカの渡りを見るのが難しくなるのではないかと心配する。



### 父子

### 堀

父子	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
336m	9月14日	1	4	4	9
	9月15日	0	27	1	28
	9月16日	0	0	0	0
	9月21日	0	31	0	31
	9月22日	0	0	0	0
	9月23日	0	0	0	0
	9月28日	0	1	0	1
	9月29日	0	3	0	3
	合計	1	66	5	72

今年は調査日の天候が悪く、雨で中止の日が多かった。そのせいか出現数は去年の半数以下となっています。他定点の天候が悪い時間でも、晴れている事があったので狭い範囲でも天候の違いがある事を改めて実感した。出現数は14日3羽、15日27羽、16日0羽、21日31羽、22日0羽、23日0羽、28日1羽、29日3羽。15日以外は一人の観察で観察範囲が広く、見落としがかなり有ると思われ全体的に遠くが震んだ状態もあったので、近くの個体しか確認ができなかったのも原因か？

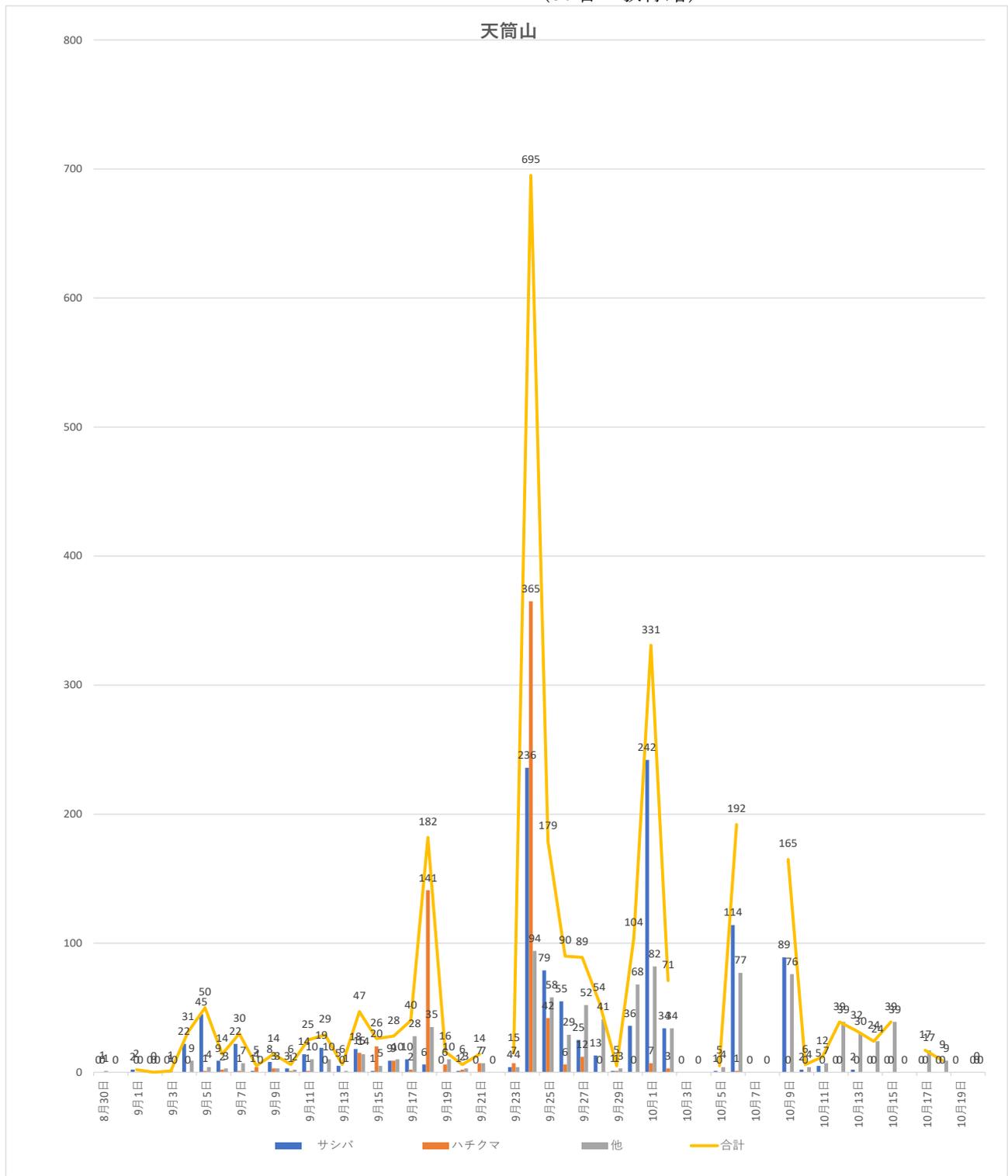
後書き

田川

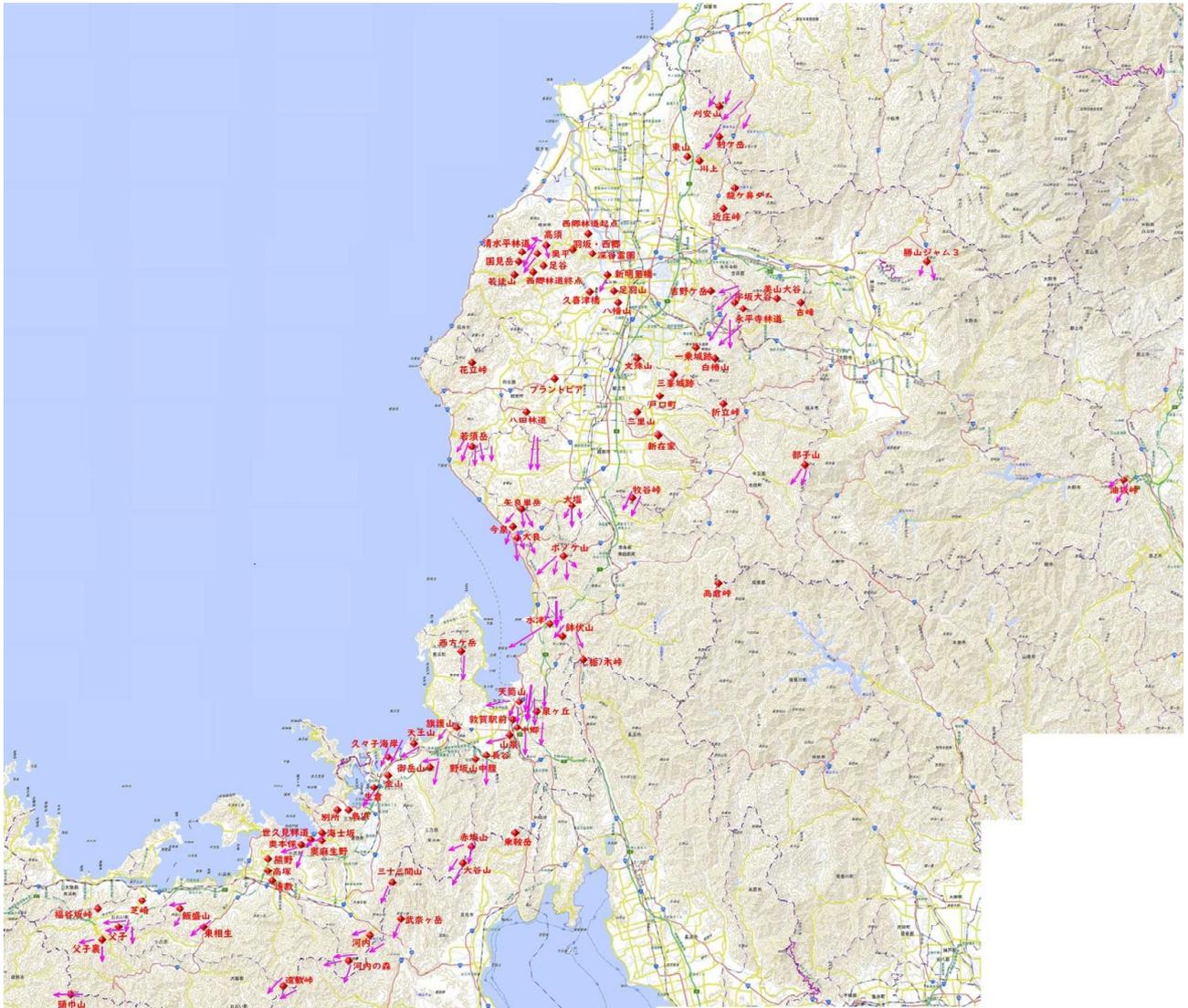
若須岳を始め新しい定点の勝山芳野、大塩は今年出なかったが、数年調査すると数が出るのでは無いだろうか？今後の調査に期待したい。

最後に私事で恐縮ですが、今回で担当を退任致します。皆様には大変お世話になり有難うございました。今後は一調査員として参加させていただきますので引き続きよろしくお願い致します。

調査にご協力いただいた皆様（掲載漏れがありましたらお許し下さい）赤星昇、麻畑久人、井尻雅己、大坂英樹、大塚育恵、大西五十二、組頭五十夫、小嶋明男、酒井敬治、鈴川文夫、田川亨、武田真澄美、藤本尚子、平城常雄、堀孝雄、蒔田憲三、村上公輝、村上千夏子、柳町邦光、横山大八、宇野秀夫、宇野竜司、越野恵子、吉田一郎、橋崎建次、後藤弥生、森田次夫、進士温子、平田長市郎、櫛村祐喜  
(30名・敬称略)



# 福井県下 タカの渡りルート概要 (1991～2024 調査より)



## タカの渡りルート概要について

上のルート図は、1991年から2024年までの本会のタカの渡り県下一斉調査で記録のある調査地点とルートトレースをまとめたものです。以下の点に注意してご利用下さい。

- 矢印はおよその飛去方向を示しています。
- 矢印の長さには羽数等の意味はありません。
- 一部の太い矢印は、毎年多くのタカが記録されている場所です。
- 古いデータにはトレースが記録されていない地点が多数あります。十分に記録が反映されていない事は否めません。

作成責任 平城

## <作成メモ>

今年、嶺南のルートが不明である地域の新たな調査可能地点を探して夏期に山歩きをしていたところ、田川氏から「その地点はかつて1日に100羽以上のタカが出た記録がある」と聞きました。

結局、私は自分が調査に参加し始めた頃より以降のデータしか頭になかったことに気づきました。それで、過去どのような記録があるのか、再度確認する意味で作成したものです。来年度以降実施される調査計画の材料にいただければ幸いです。